# 競馬予想システム

依田倫太朗

## 更新情報

- 2023/01/25
- my\_modulesの階層変えた

### 目次

#### 更新情報

- 1. 目的
- 2. ディレクトリ構成
- 3. ライブラリと使用法
- 4. ロードマップ

### 1. 目的

・めざせ不労所得

• ラインから60秒で始められる高収入バイト

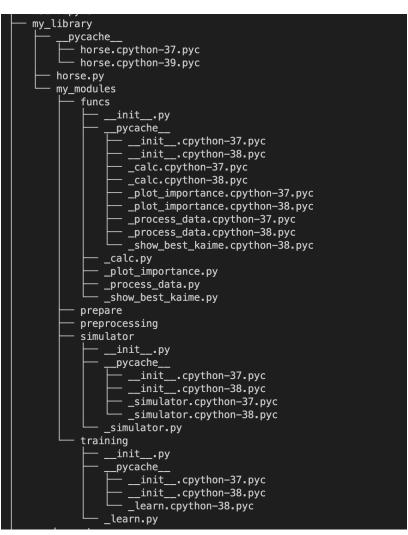
• 万馬券を当てよう

# 2. ディレクトリ構成

データベース

```
— Data
— horse_results.csv
— peds.csv
— results.csv
— return.csv
```

# 2. ディレクトリ構成



- 今 horse.py にベタ書きしてる class や func を順次 my\_libraly/my\_modules に移行する予定
- 現在は my\_library/horse.py でよく使う奴らを定義

### 3. ライブラリと使用法(主に使ってるやつね)

class HorseResults horse\_results テーブルの前処理を行うクラス

class Return returns テーブルの前処理を行うクラス

class Results results テーブルの前処理を行うクラス

class Peds peds テーブルの前処理を行うクラス

全部 horse.py にいる

### 3. ライブラリと使用法

#### class Simulator

※ result\_df 返却するだけなので将来的にclass -> func にする予定 result\_df: 予測の情報と, odds, 払い戻しなどが記載されたテーブル my\_modules.func.calc\_(result\_df,kaime='tansho')で使う予定

#### class TodaySimulator

レース当日の sim 用のクラス こいつも廃止予定

#### 3. ライブラリと使用法

#### class LearnLGBM

lightgbmを学習させるクラス lightgbmについてはググってね 本研究ではランク学習を用いる方針 これもクラス化したメリットあんま感じないので, 廃止予定

#### class Predictor (LearnLGBM)

当日レース用 予測モデル作成 こいつもキモいから廃止予定

### **\*** fasttext

- 競馬の血統データのベクトル化に、自然言語処理で用いられるfasttextが良いと聞いた
- ただインストール方法がクソだるい割に精度の向上に貢献したかは謎
- 多分エラーのオンパレードなので、fasttextは当分使わない方針
- ただ,血統データのカテゴリ数がデータ多いと5万とかなるので,精度の観点からは後々,カテゴリ変数ではなく,ベクトル化していきたい
- エラー出る場合は無視して該当箇所を適宜コメントアウトして!

### ロードマップ

- コードをスッキリさせたいでーす
- 修論描き終わったら本格的にやる